



令和4年度 予算と主要事業の概要 **(新規・重点施策抜粋版)**

和歌山市
令和4年2月14日



令和4年度予算のポイント



時代の変化に柔軟に対応し、様々な暮らしを安心して続けられるまちを実現

安定した雇用を生み出す
産業が元気なまち

住みたいと選ばれる
魅力があふれるまち

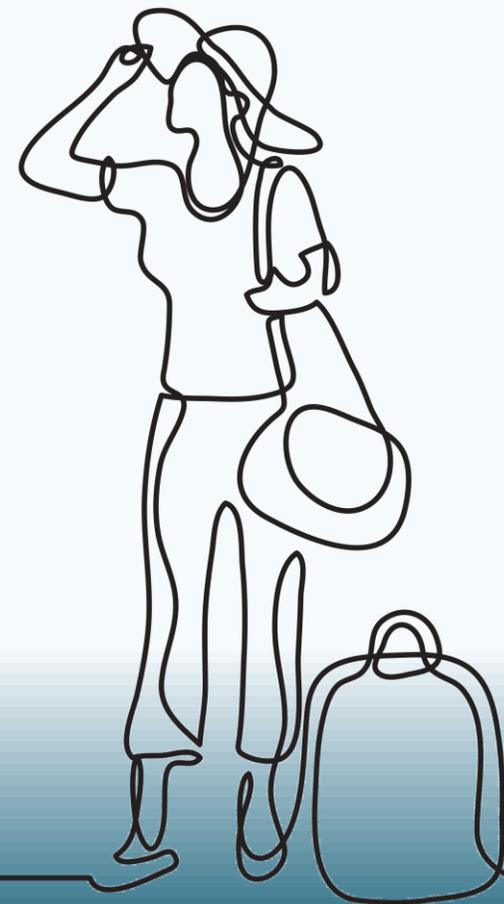
子供たちが
いきいきと育つまち

誰もが安心して
住み続けられる
持続可能なまち

令和4年度予算は、多面的な価値の再発見と活用を通じ、市民生活の安心と豊かさを追求する
「多様な営み・暮らしに寄り添う予算」

01

安定した雇用を生み出す
産業が元気なまち



地域の魅力を活かした多面的な観光価値の向上

コロナ禍においても本市での観光を楽しんでいただけるよう、本市が持つ様々な魅力や課題を新たな観光資源へと昇華し、多面的な観光価値を一体的に活用することで、市内外からの誘客を促進し、観光需要の回復を目指します。

伝統文化活動を通じた魅力の発信

観光課

●和歌祭四百年式年大祭

＜新規＞ 13,319千円 【内示資料No.8】

創始400年を迎え、和歌浦から和歌山城周辺で盛大に開催される「和歌祭400年式年大祭」を支援し、観光誘客に繋げる。和歌祭の壮大な渡御行列に騎乗「第八代将軍徳川吉宗公」として松平健氏も参加



H28.9 赤坂氷川祭に参加



観光客受入体制の構築

観光課

●観光地活性化計画（まちやど構想）の策定

＜新規＞ 10,000千円 【内示資料No.9】

市内の観光地とその周辺地域において、空き家等を宿泊施設や飲食店、オフィス等として活用し、まちぐるみで宿泊客等をもてなすことで、新たな観光誘客や移住促進を図るための地域戦略となる計画（まちやど構想）を策定する

アニメツーリズム（聖地巡礼）の促進

観光課

●『サマータイムレンダ』とタイアップした観光施策による誘客促進

・キャラクターの観光大使就任

＜新規＞ 1,738千円 【内示資料No.5】

・作中カレーの販促活用

＜新規＞ 2,000千円 【内示資料No.6】

・アプリ追加コンテンツの作成

＜新規＞ 550千円 【内示資料No.6】



©田中靖規/集英社・サマータイムレンダ製作委員会

地域の魅力を活かした多面的な観光価値の向上

本市が有する関西最大級の道の駅「四季の郷公園」について、食・農・体験の拠点としての機能はそのままに、幅広い世代の方々がこれまで以上に安心して楽しめる公園として生まれ変わります。また、雑賀崎のまちなみを一望でき、防災・コミュニティ活動に利用できる広場をレモンの丘公園として整備します。

道の駅「四季の郷公園」の活用推進

農林水産課

● 四季の郷公園のリニューアルオープン <新規>

「見晴らしの丘」、「つきやまの遊び場」、「四季の小川」等のエリアを設け、新たに遊具を設置するほか、ドッグラン等も新設。子供たちの“発見”と“工夫”の力を育むことのできる安全で楽しい公園として整備



リニューアル第2弾
令和4年4月
オープン！

四季の郷公園リニューアルイメージ

● 四季の郷公園の活用推進

<継続> 36,825千円

リニューアルオープンを経て、居場所空間や体験メニュー等を拡充することで園内での滞在時間を延ばし、1日中遊べる公園を目指す



観光客受入体制の構築

公園緑地課

【内示資料No.10】

● レモンの丘公園の整備 <新規> 22,300千円

旧雑賀崎小学校跡地を防災・コミュニティ活動に利用できる広場に整備するとともに、和歌浦湾の眺望景観を楽しめる場所として活用する



雑賀崎のまちなみと海辺を一望できる沖見の里



「レモンの丘」オープニングセレモニーにはイタリア総領事も来和



イタリア・アマルフィに似た雑賀崎のまちなみ

IRの誘致

IRの実現は新たな消費需要の拡大につながり、IR区域内だけでなく、IR区域外での様々な産業分野へのプラスの波及効果が期待され、中心市街地を含む市内全体の魅力が向上すると考えています。

MICE施設

これまでにない大規模な国際会議、展示会、新たなビジネスの起爆剤となる企業系会議等のための施設

約12,000人規模の
大規模な国際会議場施設

2万㎡以上の展示施設

魅力増進施設

- 日本の伝統文化に資する施設
- 日本の精神性を訴求する施設
- 温浴体験施設

など

宿泊施設

リゾート施設への宿泊客の増加

約2,500室規模の宿泊施設

うち600室以上が
スイートルーム

カジノ施設

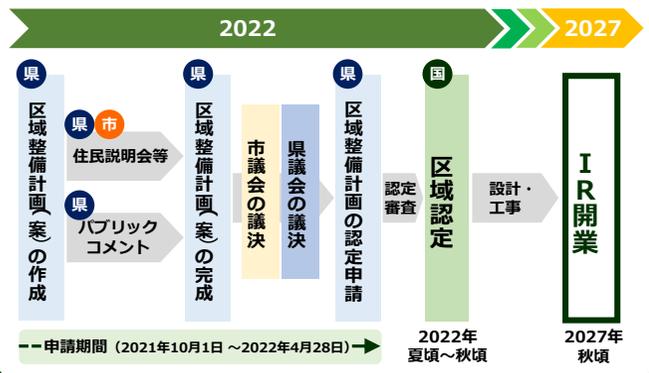
カジノ施設の収益を活用し
IR施設全体を運営

IR来場者数
約650万人/年

※和歌山県特定複合観光施設区域整備計画（案）掲出値

家族で楽しめるエンターテインメント施設へ

今後のスケジュール



送客
施設

まちなか

まちなかを含む
市内全体への経済波及効果

※施設イメージは和歌山県特定複合観光施設区域整備計画（案）掲出のもの

02

住みたいと選ばれる 魅力があふれるまち



にぎわいを広げ愛着を深める魅力的なまちなか

紀州徳川家の居城であった和歌山城のかつての姿の再現を目指し、歴史的価値の顕在化や景観づくりに取り組むことで、史跡としての魅力向上に努め、これまで以上に市民にも来訪者にも愛される、魅力あふれる和歌山城を目指します。

和歌山城のさらなる魅力向上

和歌山城
整備企画課

●扇の芝の整備 【内示資料No.22】

＜拡充＞ 153,852千円

江戸時代には庶民の憩いの場となっていた扇の芝の史跡指定範囲の拡張・整備を進める



扇の芝整備イメージ

●天守閣の整備検討 ＜拡充＞ 3,622千円 【内示資料No.20】

再建から60年以上が経過する和歌山城天守閣について、シンポジウムや市民参加型のワークショップを開催し、今後の天守閣の整備に向けた市民の意識の醸成や目指す姿等について検討を実施

●名勝和歌山城西之丸庭園保存活用計画の策定

＜新規＞ 4,341千円 【内示資料No.21】

建造物の老朽化や樹木の高木化による景観阻害が課題となっている名勝和歌山城西之丸庭園について、課題を解決し価値を高めるための保存活用計画の策定に必要な調査等を実施



和歌山城ホール屋上から見る和歌山城

自然と豊かな暮らしの未来への継承

和歌山城ホール、有吉佐和子記念館のオープンを契機として、市民の文化芸術活動への参加意欲を喚起するとともに、多様な文化・芸術の創造を促進し、本市文化芸術の向上発展と魅力発信に努めます。また、様々な世代が多様なスポーツに取り組みやすいようなスポーツ施設の整備を進めることで、スポーツを通じた健やかで明るい市民生活の形成につなげます。

文学の魅力発信

文化振興課

【内示資料No.23】

●有吉佐和子記念館のオープン<新規> 10,858千円

和歌山市出身のベストセラー作家である有吉佐和子氏の邸宅を復元整備した有吉佐和子記念館が、本市の文学発信及び交流・まち歩きの拠点として令和4年6月オープンを目指す。文学の魅力発信するための展示等を実施



寝室兼書斎（当時の様子）



展示室イメージ

作品にゆかりの深い
紀の川のそばに開館



図書館や
博物館など
近隣施設とも連携

●有吉佐和子企画展の開催<新規> 387千円 【内示資料No.24】

有吉佐和子記念館のオープンを契機に、有吉佐和子氏の姿や作品についてより深く知ってもらうため、ゆかりの資料を展示する企画展を博物館にて開催

スポーツ拠点の創出

スポーツ
振興課

●つつじが丘総合公園 にぎわい・スポーツ公園ゾーン等の整備 <新規> 174,907千円

【内示資料No.27】

新規に整備する「にぎわい・スポーツ公園ゾーン」及びリニューアルする「中央公園」に係る設計・施工、総合公園全体の運営管理を行う事業者を公募、選定し、事業に着手する



つつじが丘総合公園整備イメージ

03

子供たちが
いきいきと育つまち



安心して子供を産み育てることのできる環境の整備

こども医療費制度の所得制限撤廃など、子育て世帯に対する支援を強化することで、子育てに対する不安や経済的負担の軽減を図り、安心して子育てできる環境づくりを推進します。

経済的支援

こども家庭課

● こども医療費助成制度の所得制限撤廃 【内示資料No.29】

＜新規＞ 96,367千円

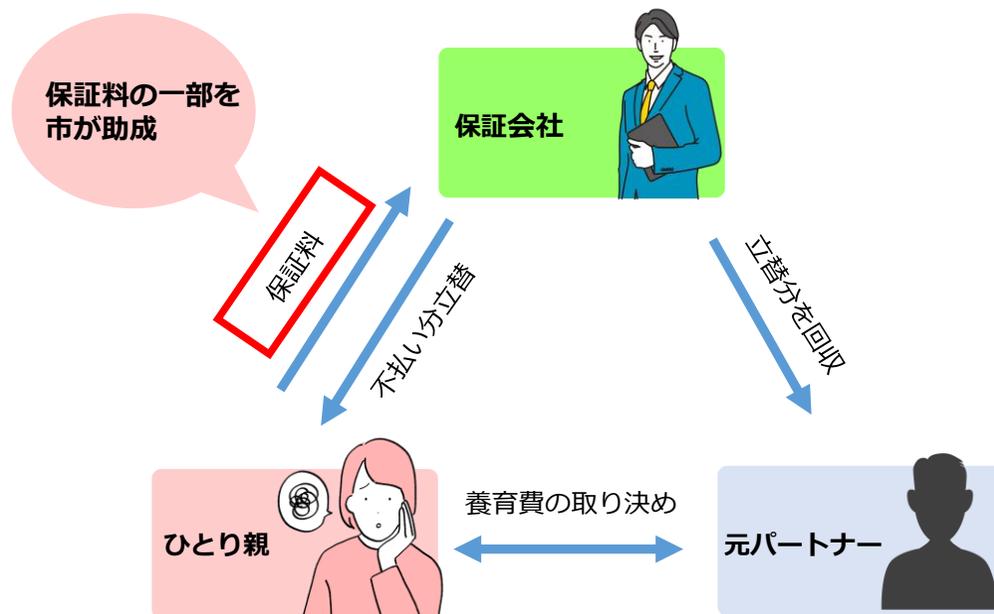
こども医療費助成に係る所得制限を撤廃し、本市に居住する全ての子供が中学校を卒業するまで医療費の自己負担額を無料化

令和4年8月から
所得制限撤廃



● 養育費保証料等の助成＜新規＞ 1,300千円 【内示資料No.30】

養育費の受取りに保証会社を利用した場合の1年目に係る保証料を、5万円を上限に補助。また、強制執行を行う場合の費用も3万円を上限に補助



(イメージ)

深い学びと健やかな成長を支える教育

35人学級や小規模特認校制度等の導入、ICTを活用した新しい学びの推進など、個に応じたきめ細かな教育を提供することで深い学びを支える環境を構築します。

教育・支援体制の充実

● 小学校35人学級の拡大<新規>

学校教育課

一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細かな指導と安全安心な教育環境を実現するため35人学級を導入。独自に導入済みであった小1、2年生に加え、令和4年度から3年生でもスタート。令和7年度に向け順次拡大

● 小規模特認校制度の導入<新規>

令和4年度から加太小・中学校で小規模特認校制度を導入。自然豊かな環境に恵まれ、小規模の良さを生かした特色ある教育活動を実施



教育政策課

● 医療的ケア児とその家族への支援強化

<新規> 9,607千円 【内示資料No.36】

医療的ケアが必要な子供が、市立学校・こども園において安心して教育・保育が受けられるよう看護師等を派遣し、支援体制を強化。また、コーディネーターを配置し、多機関にまたがる支援の調整を行う

障害者支援課
保育こども園課
学校支援課

新しい学びの充実

● デジタル教材の活用促進<新規> 3,692千円

【内示資料No.37】

学校教育課

授業目的公衆送信補償金制度を活用し、学校の授業における資料や講義映像のインターネット送信を、著作権に制限されることなく行うことで、児童生徒の個々に応じたきめ細かい指導等、学習における充実を図る



深い学びと健やかな成長を支える教育

老朽化した学校校舎等の改善に着手する等学校環境における子供の安全安心の確保に取り組むとともに、図書室の整備等、地域拠点の機能強化を図ることで、子供たちの健やかな成長を支える環境を構築します。

子供の安全安心の確保

教育施設課

● 学校校舎等の予防改修

<新規> 575,965千円 **2月補正**

築30年以上の古い建物の長寿命化を図るため、屋上の防水改修や外壁改修等の予防的な外部改修工事を行う



対象施設

小学校 4校
中学校 3校
幼稚園 1園

地域拠点の機能強化

生涯学習課

● 南コミュニティセンター図書室等の整備

<継続> 32,922千円

生涯学習施設としての機能強化を図るため、令和5年度オープンを目指し、南コミュニティセンター図書室等の整備を行う



● 小学校トイレの洋式化・学校等の空調改修

<継続> 671,600千円 **2月補正**

対象施設

トイレ：小学校 10校
空調：小学校 6校、中学校 2校、幼稚園 2園

● 照明器具のLED化<新規> 116,956千円 **2月補正**

1,304千円 **【内示資料No.38】**

小中学校の照明器具について、LED照明に交換し、省エネルギー化と児童生徒の教育環境の改善を図る



04

誰もが安心して住み続けられる 持続可能なまち



新型コロナウイルス感染拡大防止の推進

新型コロナウイルス感染症から市民の生命・暮らしを守るため、新型コロナウイルスワクチンの追加接種を迅速に進めるとともに、不安解消等のための相談窓口の設置や、検査費の負担、感染者に対するケア等を実施します。

感染対策

新型コロナウイルスワクチン
接種調整課

●新型コロナウイルスワクチン接種の推進<継続> 820,882千円

新型コロナウイルスワクチン追加（3回目）接種の速やかで円滑な推進を図るとともに、初回（1・2回目）接種を継続して推進 【内示資料No.40】

●保育所、小中学校等の感染対策に向けた支援

<継続> 91,350千円 **2月補正**
55,830千円

新型コロナウイルス感染症対策のための
物品購入費等を補助

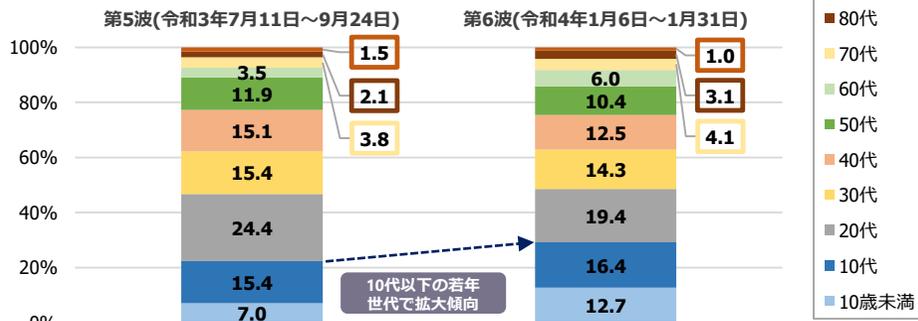
子育て支援課／保育こども園課
こども総合支援センター
教育政策課／青少年課
市立和歌山高等学校

主な
対象施設

地域子育て支援拠点、児童養護施設、児童館
小学校、中学校、高校、公立・私立保育所等

・マスク、消毒液、体温計
空気清浄機などの消耗品
・施設の消毒に要した経費

第5波-第6波 年齢別陽性者割合



※第5波(令和3年7月11日～9月24日)の陽性者1054人、第6波(令和4年1月6日～1月31日)の陽性者3,110人を対象

市民の不安解消のための取組

総務企画課

●電話相談窓口の設置

<継続> 14,745千円

新型コロナウイルス感染症に係る市民からの問い合わせや相談等に迅速かつ的確に対応するため、コールセンターを設置



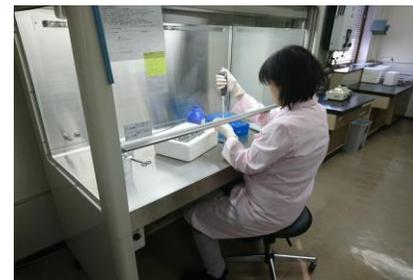
●感染症患者の入院医療費の負担<継続> 89,243千円

入院費の自己負担分を公費で負担

●PCR検査費用等の負担

<継続> 79,027千円

診断の一環として医師の判断によりPCR検査等を行った場合に、自己負担分を公費で負担

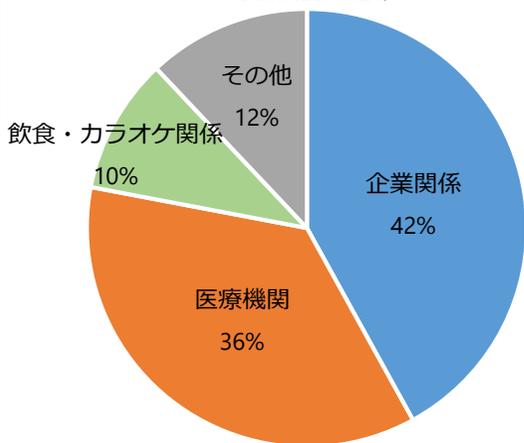


新型コロナウイルス感染拡大防止の推進

長期化する新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、高齢者施設など感染防止策の必要な施設に対し支援を講じることで、安全安心な暮らしの確保につなげていきます。

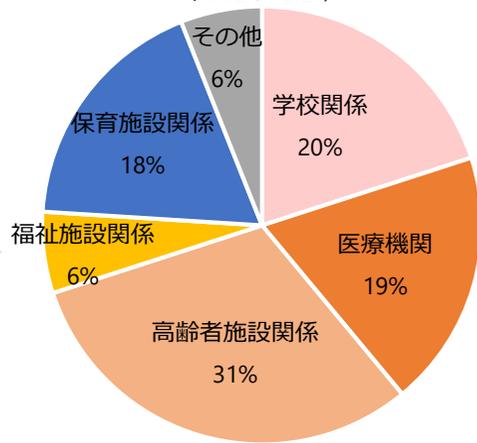
第5波-第6波におけるクラスター発生場所別の陽性者割合

第5波
(R.3.7.11~9.24)



クラスター発生件数：14件

第6波
(R.4.1.6~1.27)



クラスター発生件数：19件

● 個室化改修費の助成 介護保険課

＜新規＞ 41,076千円 内示資料No.42

介護施設等において、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、既存の多床室を個室化する改修費用を補助



地域拠点の機能強化

介護保険課 / 高齢者・地域福祉課

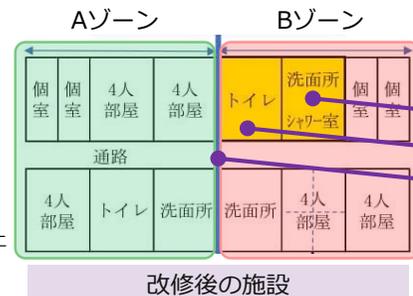
● ゾーニング環境等整備費の助成

＜新規＞ 10,245千円 内示資料No.41

高齢者施設等において、新型コロナウイルス感染症拡大を防止する観点から、生活空間等の分けを行うゾーニング環境等の整備費用を補助



・感染者と非感染者の動線分離
・入所者と面会者の直接接触を防止などの改修を実施



・間仕切り壁
・トイレ、洗面所などの整備に要する工事費のほか、消耗品費等を支援

安心して暮らせる地域づくり

六十谷水管橋の崩落に伴い、崩落した1径間と両隣の2径間の計3径間を更新し、既存4径間を点検調査に基づいた補修又は補強することで、送水できるよう復旧に向けて取り組みます。また、本市の水道が抱える課題を整理し、水道事業の方向性を示すことを目的として、新水道事業ビジョンの策定を進めます。

水管橋の復旧

水道企画課

2月補正

●六十谷水管橋復旧に向けた取組

＜継続＞ 1,939,047千円

落橋した水管橋と両隣の水管橋計3径間を更新
既存4径間は、点検調査に基づき、補修や補強をすることで、6月中旬の送水に向け取り組む



地域防災計画への位置付け

●大規模断水事故応急対策の 地域防災計画への位置付けと体制強化＜新規＞

総合防災課 / 企業総務課

大規模断水事故における応急対策を和歌山市地域防災計画に位置付け、活動体制の強化を図る

安定給水の確保

水道企画課

【内示資料No.45】

●水道施設全体の在り方を再検討＜新規＞ 45,188千円

送水管の複線化や新浄水場の建設、既存浄水場も含めた水道施設全体の在り方を再検討

【内示資料No.44】

●新水道事業ビジョンの策定＜新規＞ 5,247千円

新水道ビジョンに掲げられた「持続」「安全」「強靱」の理念に基づき、本市の水道が抱える課題を整理し、水道事業の方向性を示すことを目的として「和歌山市新水道事業ビジョン」を策定



●水管橋の点検方法の確立＜新規＞

水道施設の点検方法について、最新技術の採用を検討し、取りまとめる

上・工業用水道管理課
維持管理課

安心して暮らせる地域づくり

気候変動の影響による水害の激甚化・頻発化等を踏まえ、地域の特性に応じ、氾濫をできるだけ防ぎ、減らす対策、被害の軽減、早期復旧のための対策を進めます。

治水対策の推進

河川港湾課

● 紀の川の治水対策促進 に向けた取組を 国へ働きかけ<継続>

新六箇井堰の一部撤去
紀の川の整備加速化
七瀬川流域浸水対策の促進



● 国営農地防災事業の推進

<継続> 耕地課

国が事業主体となり県・市・土地改良区の連携のもと、和歌山市から紀の川市に至る地域において排水対策として農業用排水路や排水機等の改修を実施



千巨樋門及び千巨放水路工事

● 準用河川の整備<継続> 171,000千円 2月補正 河川港湾課 <継続> 154,474千円

地域住民の生活河川として、治水対策、生活環境の保全上重要な役割を担っている準用河川について、河道改修及びバイパス河川整備を行う

● 普通河川の整備<継続> 47,199千円 河川港湾課

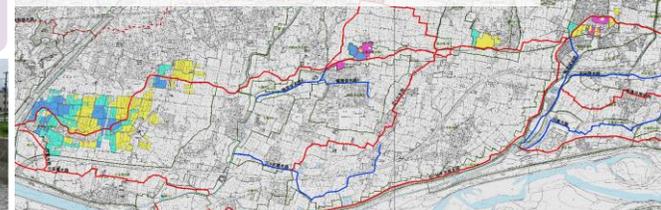
準用河川を除く普通河川について、河道改修及び適切な維持管理により、流下機能を確保

これまでの整備により、
令和3年8月の大雨
(10年に1度の雨量)
でも**浸水被害なし**

令和3年8月17~18日の出水シミュレーション結果
※色付きの区域は排水対策を実施していなければ
浸水したと予測される区域



七瀬排水路放流工 (R3.8.17の様子)



● ため池の改修<継続> 24,760千円 2月補正 耕地課 <継続> 43,360千円

ため池の防災力の向上を図るために改修等を実施

快適でスマートなまちの形成

産業の活性化、物流の効率化、観光の振興に向け、和歌山環状北道路及び和歌山環状道路が重要物流道路に指定されるよう、国や県に働きかけるとともに、市の基幹道路である都市計画道路の整備を進め、道路ネットワークの構築を図ります。

都市機能を支える道路網の構築

●和歌山環状北道路の早期事業化に向けた働きかけ

＜継続＞ 2,224千円 道路政策課

新広域道路交通計画に位置付けられた和歌山環状北道路（京奈和・第二阪和連絡道路）と和歌山環状道路の重要物流道路への指定とともに、和歌山環状北道路の早期事業化を働きかける

●都市計画道路の整備 道路建設課

＜継続＞ 739,200千円 2月補正

＜継続＞ 726,551千円

都市計画道路のうち重点整備区間道路の整備を促進
令和4年度に整備する主な路線

- ・市駅和佐線
- ・今福神前線
- ・有本中島線



完成目標：R4年度末
中心部から和歌山IC
へのアクセスが
飛躍的に向上

●国道42号和歌浦地区の歩道整備 用地課

＜拡充＞ 1,048,640千円 【内示資料No.43】

歩道整備が進められ、通学児童をはじめ利用者の安全を確保
歩道整備等に必要な事業用地を、国から委託を受け先行取得を実施



快適でスマートなまちの形成

人口減少や少子高齢化が進展する中でも住民サービスの質やまちの魅力を維持・向上させるため、先端技術の活用による持続可能なまちづくりを推進します。先端技術を持つ企業や研究機関との連携を図りながら産官学でスマートシティの取組を進め、市役所内においても、住民の利便性向上と業務の効率化による行政サービスの向上を図ります。

スマートシティの推進

企画政策課

●スマートシティ推進プラットフォームによる官民連携<新規> 2,124千円【内示資料No.46】

47社が参画
(R4.2.10現在)

和歌山市スマートシティ推進プラットフォームを推進の軸として、分科会を設置し官民で具体的な検討や取組を進める

・スマートシティ実証実験サポート補助金

プラットフォームの分科会で検討された事業案の実現など、先端技術の実装に向けた実証実験の実施に対して補助

プラットフォームを通じ目指す方向性

まちのスマート化

行政のDX

市内事業者のDX

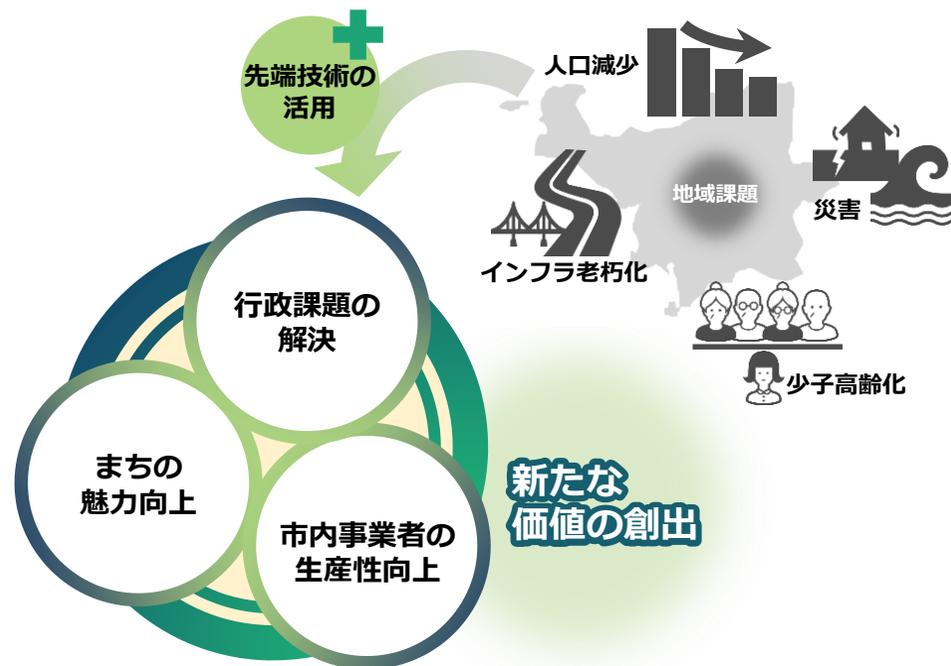
現在設置されている分科会

- ・まちなかスマート化分科会
- ・和歌山城スマート化分科会

プロジェクトの検討・実施

先端技術を用いた実証実験

など



住民の利便性の向上

●おくやみコーナーの設置

<新規> 264千円【内示資料No.48】

市民課
行政経営課
デジタル推進課

家族等が亡くなった際に発生する、市役所での様々な手続きに対する遺族の負担を軽減するため、必要な手続きの特定について相談を受け案内。オンライン予約サイトを設け、帳票の作成等に予約時の入力情報を活用

行政運営の効率化

●外部デジタル人材の活用

デジタル推進課

<新規> 9,295千円【内示資料No.49】

自治体DXを進めるに当たり、外部人材の活用により、広い視野や豊富な経験に基づく専門的知見を有する者から、現状分析や助言・提言等の支援を受ける

令和4年度当初予算の概要

○ 一般会計予算

144,105,428 千円

増減率	増減額
(△0.4%)	(△509,096千円)
△0.4%	△558,896千円

○ 特別会計予算

101,042,688 千円

増減率	増減額
3.9%	3,755,833千円

○ 公営企業会計予算

38,052,568 千円

増減率	増減額
(△2.0%)	(△761,532千円)
△2.8%	△1,113,632千円

○ 予算合計

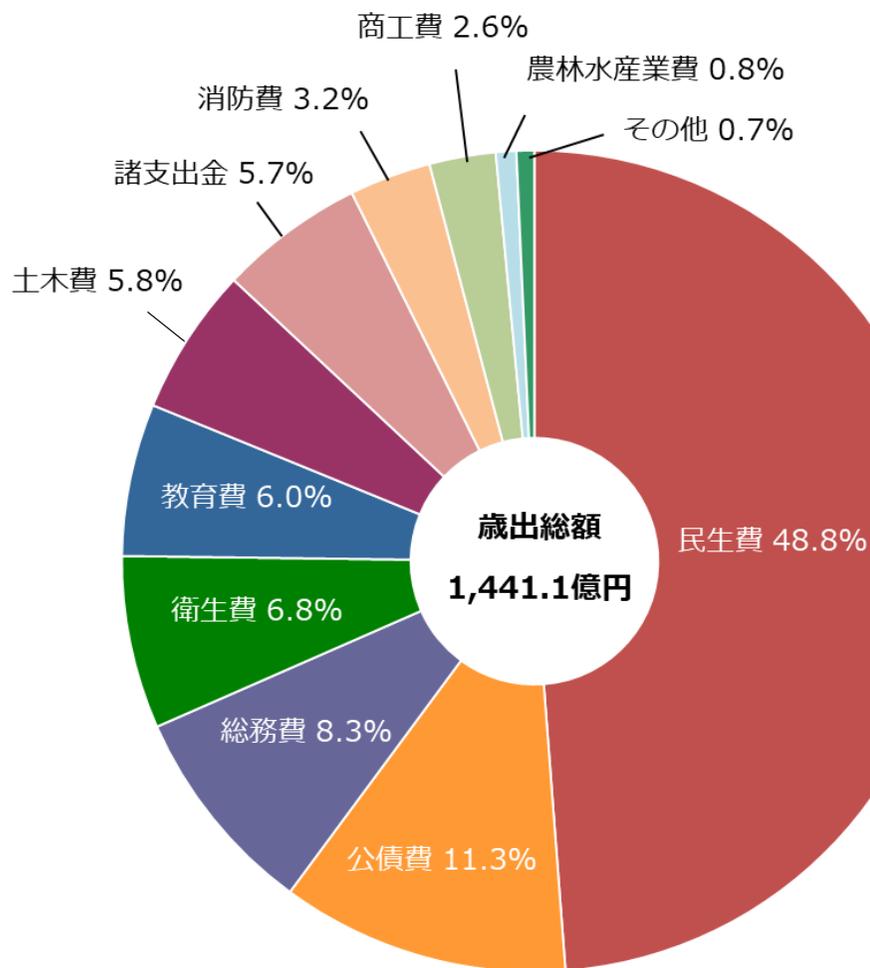
283,200,684 千円

増減率	増減額
(0.9%)	(2,485,205千円)
0.7%	2,083,305千円

() 内は、借換えの対象となった元金償還金を除いた額です。

一般会計歳出の状況（目的別）①

（1）款別予算額の構成比



構成比の前年度からの増減

増

- ◆ 民生費 +1.3ポイント
(47.5%→48.8%)
- ◆ 土木費 +0.8ポイント
(5.0%→5.8%)

減

- ◆ 総務費 △1.9ポイント
(10.2%→8.3%)
- ◆ 公債費 △0.2ポイント
(11.5%→11.3%)

一般会計歳出の状況（目的別）②

（2）款別予算額の年度間増減

前年比△5.5億円
(△0.4%)

令和3年度	令和4年度
1,446.6億円	1,441.1億円



増

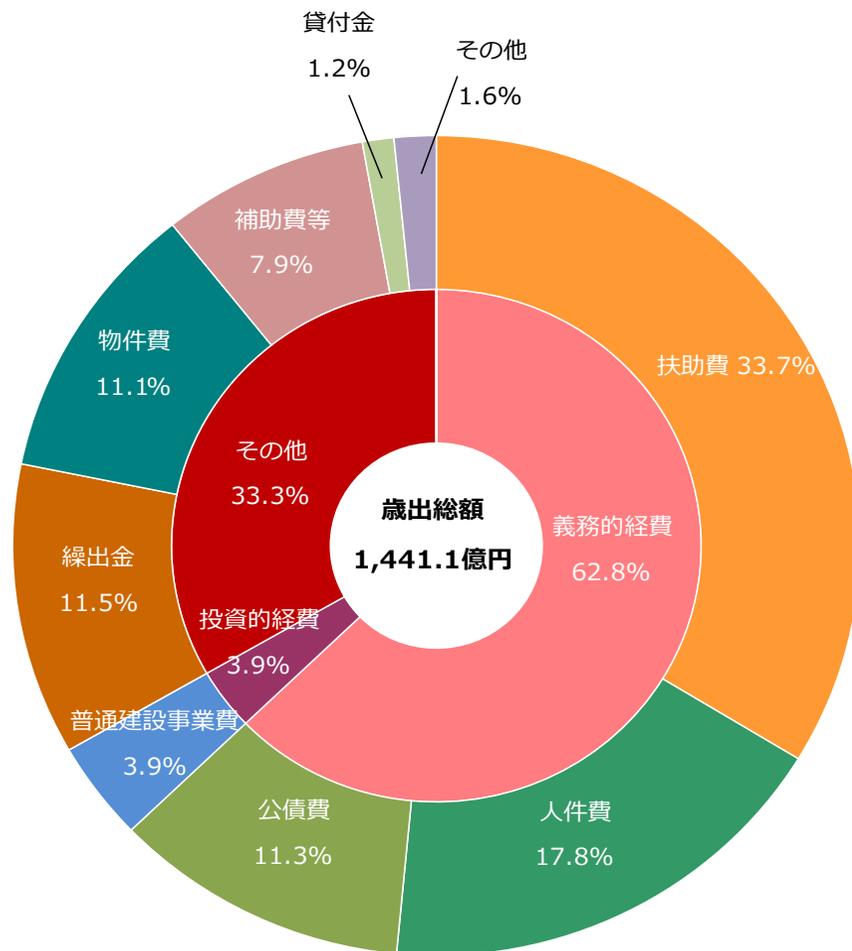
- ◆ **民生費 +17.0億円 (+2.5%)**
 - ・ 障害福祉サービス等給付費 +7.2億円
 - ・ 生活保護扶助費 +3.9億円
 - ・ 障害児施設給付費 +3.1億円
- ◆ **土木費 +11.7億円 (+16.2%)**
 - ・ 岡崎団地建替事業 +6.5億円
 - ・ 道路施設老朽化対策事業 +1.6億円
 - ・ 都市計画道路整備事業（市駅和佐線の完成）+3.7億円
- ◆ **商工費 +2.2億円 (+6.2%)**
 - ・ 企業立地促進奨励金 +1.2億円
 - ・ 扇の芝整備事業 +1.5億円

減

- ◆ **総務費 △27.6億円 (△18.8%)**
 - ・ 和歌山城ホール整備事業 △29.8億円
 - ◆ **衛生費 △1.9億円 (△1.9%)**
 - ・ 焼却機能1施設化整備事業 △1.9億円
 - ◆ **教育費 △1.4億円 (△1.6%)**
 - ・ 小学校プール改築事業 △2.3億円
 - ・ 中学校体育館空調設置事業 +0.8億円
- (参考) 令和3年度国補正分 小学校トイレ改修事業など14.6億円

一般会計歳出の状況（性質別）①

（１）性質別予算額の構成比



（ % ）は前年度の割合

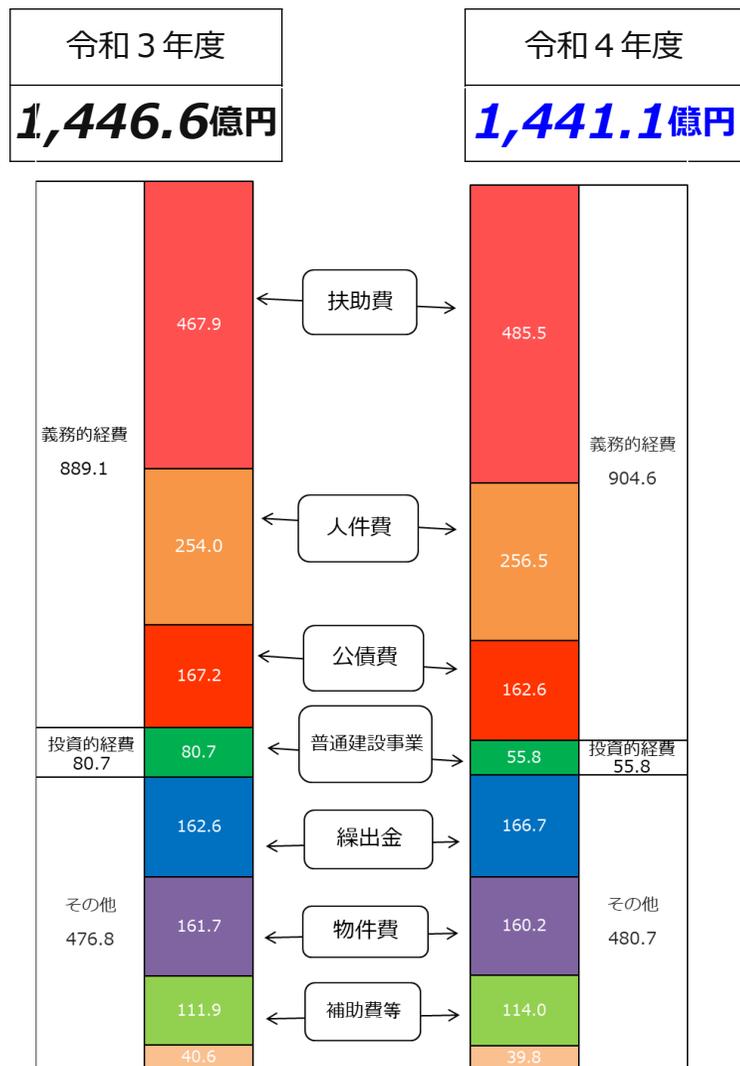
○ 義務的経費の割合	62.8% (61.3%)
○ 投資的経費の割合	3.9% (5.6%)
○ その他の割合	33.3% (33.1%)

- ◎ 割合が増加
扶助費・繰出金など
- ◎ 割合が減少
普通建設事業費

一般会計歳出の状況（性質別）②

（2）性質別予算額の年度間増減

前年比△5.5億円（△0.4%）



◆義務的経費 +15.5億円 (+1.7%)

- ・人件費 +2.5億円 (+1.0%)
退職金 +5.9億円
給料 △1.8億円 期末勤勉手当 △1.2億円
- ・扶助費 +17.6億円 (+3.8%)
障害福祉サービス等給付費 +7.2億円
生活保護扶助費 +3.9億円
障害児施設給付費 +3.1億円
新型コロナウイルス感染症に係る入院費及びPCR検査費用の公費負担 +1.3億円
- ・公債費 △4.6億円 (△2.8%)
元金償還金 △3.7億円 長期債利子 △0.9億円

◆投資的経費 △24.9億円 (△30.8%)

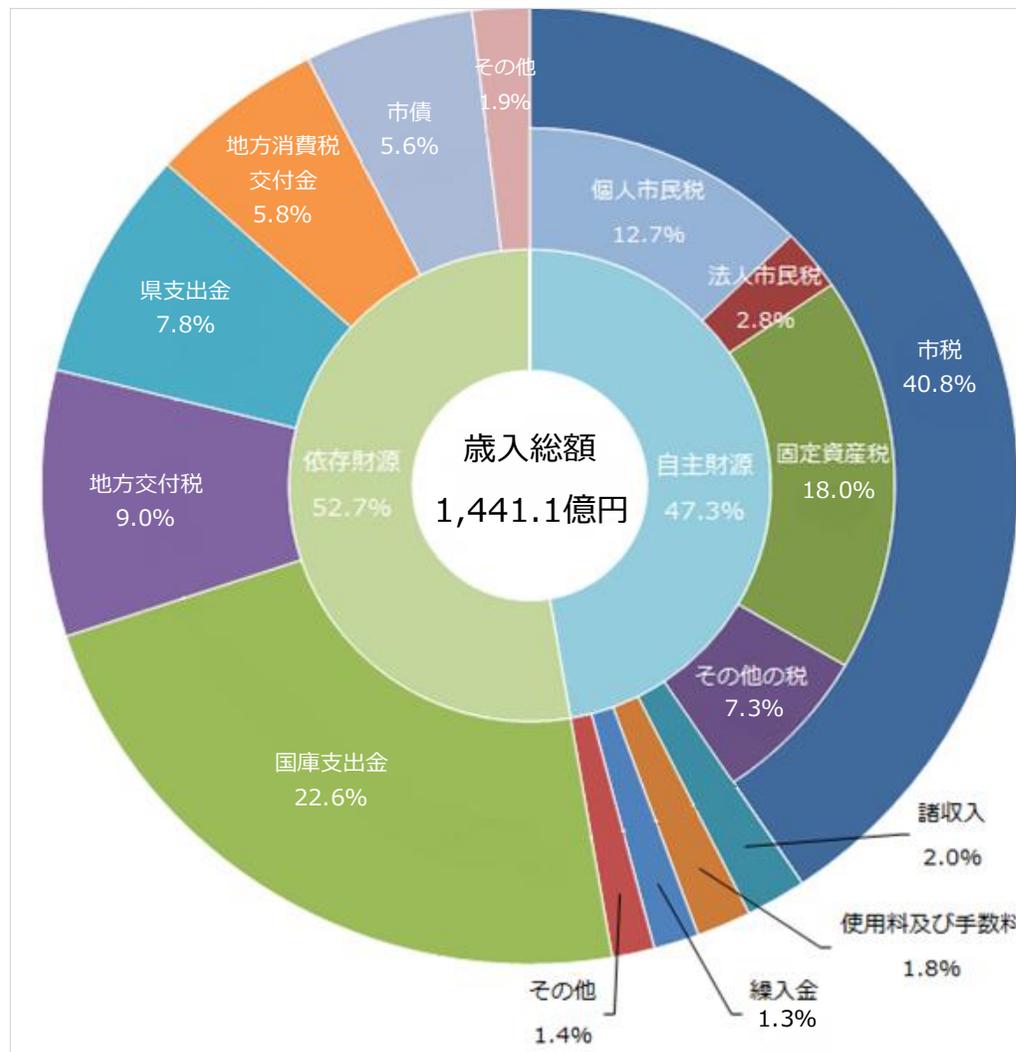
- 岡崎団地建替事業 +6.5億円
- 和歌山城ホール整備事業 △29.2億円

◆その他 +3.9億円 (+0.8%)

- ・物件費 △1.5億円 (△1.0%)
新型コロナワクチン予防接種委託料 △6.9億円
ふるさと納税返礼品経費 +5.9億円
- ・補助費等 +2.1億円 (+1.9%)
企業立地促進奨励金 +1.2億円
保育士等処遇改善臨時特例交付金 +1.1億円
- ・繰出金 +4.1億円 (+2.6%)
介護保険事業特別会計への繰出金 +1.7億円
後期高齢者医療特別会計への繰出金 +2.0億円

一般会計歳入の状況①

(1) 自主財源と依存財源の割合



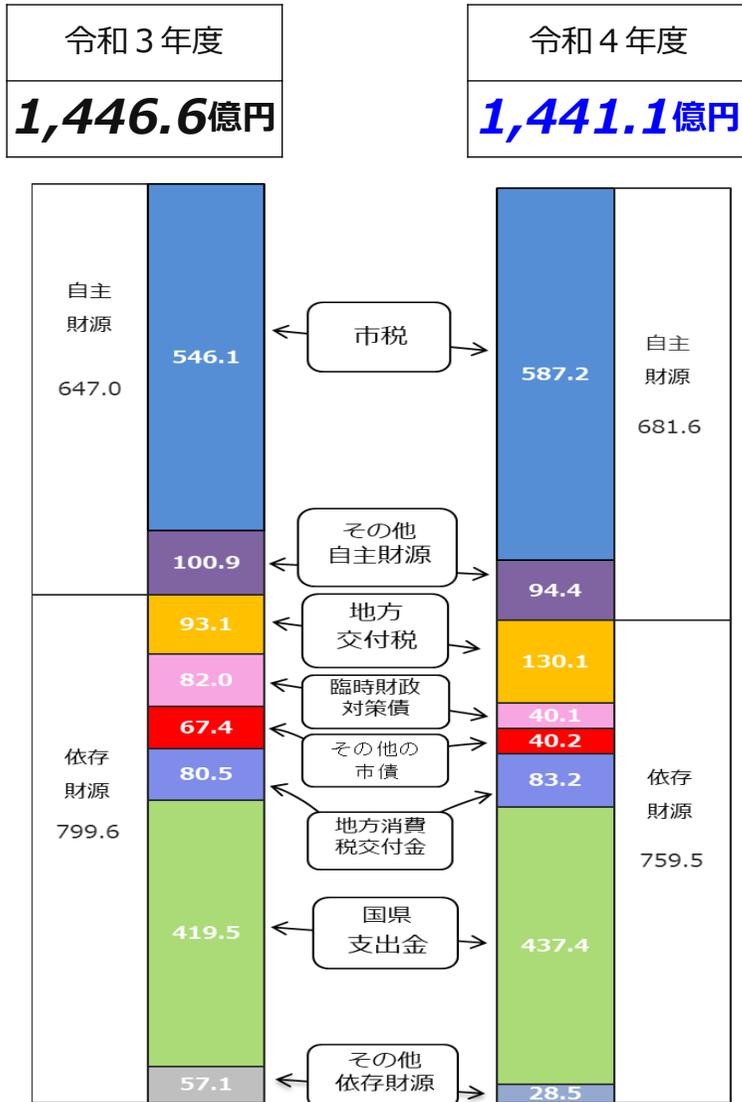
(%) は前年度の割合

○ **自主財源 681.6億円**
構成比 47.3% (44.7%)

○ **依存財源 759.5億円**
構成比 52.7% (55.3%)

一般会計歳入の状況②

(2) 年度間増減



自主財源 +34.6億円 (+5.3%)

○市税 +41.1億円 (+7.5%)

- ・法人市民税及び固定資産税の増等

○その他（繰入金等）△6.5億円 (△6.4%)

- ・財政調整基金繰入金 △10.1億円
- ・寄附金 +7.2億円

依存財源 △40.1億円 (△5.0%)

○地方交付税 △4.9億円 (△2.8%)

(臨時財政対策債を含む。)

○地方特例交付金 △32.1億円 (△90.5%)

- ・新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金 △31.8億円

○市債 △27.2億円 (△40.3%)

(臨時財政対策債を除く。)

- ・市民会館整備事業債の減 △28.7億円

○国県支出金 +17.9億円 (+4.3%)

- ・障害者総合支援給付費負担金交付金 +5.5億円
- ・生活保護費負担金 +2.9億円
- ・公営住宅建設費補助金 +2.6億円
- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 +4.3億円